



**人見**…今日は「心」の話をしたと思って、長州さんには「俺に聞くなよ」とか言われそうなんですけど……。

**長州**…うん。反対にこっちがプロフエッショナルの先生に聞いてみたいよね。先生はイギリスにいたとき、何の勉強をしていたの？

**人見**…精神的な領域ですね。

**長州**…イギリスというのは、そういうのが結構……。

**人見**…フロイトという人がいてです

ね。

**長州**…ああ、何か聞いたことがある。

**人見**…フロイトはユダヤ人だったのでナチスの迫害を受けて、最後はロンドンに移住して亡くなったのでお弟子さんたちがたくさんいて、そういう意味では本場なんです。

**長州**…その……心理学というのは自分に「問う」わけですか？

**人見**…やっぱり自分のことが一番わからないので……。

**長州**…えっ？ 自分のことは自分が

一番わかるんじゃないの？ 違うの？

**人見**…「なんで自分はまた同じことをやっちゃうのかなあ」なんていうときがあったりしませんか？

**長州**…ああ。まあ自分というか、それが人間なんじゃないの？

**人見**…はい。でもそれを「なんでそうなるのかなあ」と考えていくところが精神的な世界にはあるんです。まるで答えのない世界に毎日毎日いるという感じで、そこで目の前のクライアントさんの話を聴いて

……。

**長州**…相手が少しでも悩み事から抜け出せるようにアドバイスするわけですか？

**人見**…それは流派によって考え方が違いますね。

**長州**…流派!? それはどういう意味？

**人見**…いろんな治療法があるんです。例えば、人前になると緊張してしまっている人がいたときに、そのドキドキするという症状を出なくすることに集中するアプローチと、「なぜドキド



# 長州力 × 人見健太郎

Riki Choshu

Kenji Choshu

## 巻頭対談



キするようになったのか一緒に考えていきましよう」というアプローチと、大雑把に言ったらそんなものがあるというイメージですね。

**長州**…大変だね。確かに答えのない世界だ。

**人見**…そうですね。専門家同士でも意見が違っていたりするのです。あと、やっぱり世の中の人にわかってもらえないと、「心の専門家っていうけど何をやっているの?」とか言われちゃうわけです(苦笑)。

**長州**…昔からあるのかもしれないけ

ど、「うつ」ってあるじゃない? うつには高いときと低いときがあるて……。

**人見**…はい、「躁うつ」と言ったりしますね。

**長州**…一人ね、親しい友人がいて、気分がいいときには朝から電話がかかってくるの。突然どこかへ行こうとか、もう聞いている相手を無視してどんどん話しかけてくるの。「お、何だ、機嫌がいいな」と思ったら実はそうではなくて、「その人は楽しいんじゃないかって、あなたに助

けを求めているんだ」と説明されたことがあるの。本人は笑っていつばい話すけれども、気分が高揚すればするほど、ものすごく苦しい状態にあるんだって。そう聞いたら、「じゃあ、もうちょっと接し方を考えたらよかった」と思ったよ。

**人見**…はい。今まさに長州さんがおっしゃったようなことを、本当は僕たちのような仕事をしている人間が積極的に伝えていかなければならないですよ。「いや、そういうことではないんです。実はこういうことなんです」と知ってもらえたら、「ああ、そうなんだ」と長州さんのように関わり方を変えることができますから。

### 見えない世界へ向けて

**人見**…ところで長州さんは精力的にSNSに取り組まれていますか、やっぱり楽しいことという感覚ですか? もちろん仕事という面もあるでしょうけど。

**長州**…まずは見てくれる人を笑わせてやろうという気持ちがあるよ。その日に面白いことがあったら、それをちよっとオーバーにして書いてる。実際に起きたことにちよっと盛って

(笑)。基本的には笑ってほしいの。**人見**…おそらく昔の長州さんのプロフィールを見ていた人たちからすると、ギャップがすごいと思いますよ。長州力という選手は笑いと無縁だったわけですから。

それで今はツイッターのフォロワーが五三万人もいるんですね!

**長州**…人数が増えていくことについて、スタッフたちが驚いているのか喜んでいいのかはよくわからないけど、ツイッターはね、最初はLINEの延長みたいなものだと思って。まあ失敗が多かったんだけど、別に気にはしてないです。今は、あれはもうツイッターじゃないとか。俺のツイッターに返信してくる人もツイッターの使い方をしないしね。

**人見**…ああ、確かに長州さんに対する個人的なメッセージになってるかもしれないですね。

**長州**…何かお互いのやりとりをみんなに見せてみたいになっちゃって。

**人見**…それで、長州さんはブログだと返信をするんですね?

**長州**…ああ、あれはたまたま携帯を変えたら、その携帯がすぐ返信しやすかったの(笑)。俺でも簡単にできる。前のやつはちよっとしんど



かった。

**人見**…ブログはツイッターよりも気楽ですか？

**長州**…ああ、そうだね。ツイッターだとやっぱりちょっと硬い話になったときに、なかなか自分の気持ちを伝えられないというか。それを一四〇文字の中で伝えようと思ったら、言葉を難しく考えてしまつて、そうすると今度はその文章が何か俺じゃあねえなというような感じになつちゃうの。ブログは短くても長くてもいいからね。

**人見**…ああ、なるほど。

**長州**…それで返信もするし。返信するのが楽しいというか。そうするとまた返ってくるし。やっぱり俺のファンだという人はプロレスのファンが多いから、俺から何か返ってきたら嬉しいと感じてくれるんじゃないかな。だから短くても、ちょっと「ありがとう」とか書くと、何か相手側に伝わったという感じがあるよね。

**人見**…SNSのことで言うと、今回、新型コロナウイルスの影響があつてツイッターなんかがすごく荒れたりしたのは、外に出られなくなった人たちのストレスというのがやっぱりあつたのかなと思います。

**長州**…みんな初めての体験だからね。でも、こんなふうになつちゃうんだなというのはあるよ。俺はツイッターを書いて、もしかしたら何かカストレスを溜め込んでいるようなことを書いているかもしれないけど。だから、気をつけているのは、相手を傷つけることは自分の文章からは発しないようにしていることだね。

**人見**…長州さんは新型コロナウイルスのことでは、「皆さん、我慢しましょう」「頑張りましたよ」と呼びかけられていますよね。

**長州**…それはやっぱり心配だし。「頑張ってください」と言われたら「ああ、お互いに頑張りましたよ」と言うのと一緒にです。一人一人にそれをやっていたら大変なことになっちゃうけど。

でも、少し注意しているのは、俺が書いたことに返信してくる人間は、もう大体こつち側寄りの意見を書いてくるの。「そうです。僕もそうです」と。みんなそう言う。だから、それは俺にとっては回答にはならないわけです。

**人見**…ああー。

**長州**…うん。みんなこつち寄りで、「私もそうなんですよ」と。そうやって書いてくる人間が多いから。あ

とね、こちらは実名でやっているけど、中には間違いなくすり替えているやつもいると思うんだよね。

**人見**…「すり替え」ですか？

**長州**…ツイッター上ではうまく対応はしているけれども、また違うところに出たら、ずっと何かを誹謗中傷したり揶揄したりしているとか。

**人見**…使い分けたり、なりすましたりという感じですか？

**長州**…ああ、そうそう。俺の前に出てくるときは、親しげに「私はいつもこういう感じです」と振る舞う。

でも、ちょっと違うところに行った場合にどうなるのか。もうこつちが察しないとそれはわからないよね。

**人見**…なるほど。

**長州**…「何なんだこいつ、変わった野郎だな」と思うことはあるよ。そういうやつって、今まで書いていたことが急に変わって揶揄しだすの。「ああ、こいつはやっぱりどこか違うところに行けばすり替わっちゃうんだな」「それで、自分のそういう姿は見られていないと思っているんだろうな」と。



そういう人間は何となくわかるよ。何となくわかる。それが当たっているか当たっていないかはわからないけれども。世の中そういうふうになっている人は、たぶん多いんじゃないかな。ここではこうだけれども、向こうでは違うという。コロナと一緒にね、見えないんだから。でも、影響だけはあるんだ。とんでもない影響は。

**人見**…コロナと一緒にSNSの世界は見えないというのは、今のはすごく大事な言葉ですよ。

### 時代ではなく人間が変わった

**長州**…ツイッターをしているとね、世間を騒がせる事件があったときに「何なんだ、こいつは！」となっちゃう。

**人見**…はいはい、そう書いていたことがありましたね。

**長州**…ちよっと感情的になって書いてやう。そうするとスタッフたちが「ちよっとこの投稿は削除したほうがいいです」と言ってくる。

最近ちよっと驚いたのに、少年たちがホームレスに投石して殺した事件があったんだけど、それこそ「どういう心境でこういうことをやるの



か」「一体何なんだ？」って思うよ。なぜ大学まで行かせてもらった人間が、なぜ橋の下に住んでいる、誰が見たってそんなところに住みたくなけれども住まざるを得ない状態の人に対して石を投げるのか？ 誰か一人ぐらい止めようとするやつはいなかったのかって。

**人見**…もちろん自分がその場にいたわけではないから断言はできないんですけども、集団心理ということはあると思うんです。

**長州**…じゃあ、あそこにはいた何人かの人間というのは、その場で同じ考えを持っていたっていうこと？

**人見**…例えばですが、いじめでも同じようなことが起きると思うんです。

クラスの中で誰かがいじめられているのを、誰も止めないでエスカレーターしていくという。

**長州**…ただね、そこまでやるかっていうのがあるよ。石を投げて人を殺めるっていうね。親をボウガンで撃ち殺す事件もあったでしょ。その考えがどうやったら湧いてくるんだと。**人見**…そうですね、スイッチが切り替わっちゃっているというか、普通の心理状態ではできないはずですよ。

**長州**…昨日まで愛想よく挨拶してた人が、次の日にボウガンで家族を殺すわけでしょ。じゃあ、前の日に何を考えていたのか。親はそれをわからなかったのかとは思うよ。

子どもって生まれたらそのまま放っておいても勝手に育っていったって、勝手に物事が考えられるようになって、その子の考えだけでああいう事件を起こしているのかな？ じゃあ、親はそれに対して「ああ、こういう子に育つんだな」と後から気づくのか？

**人見**…そのあたりのことは報道されていませんし、親がどういう子育てをしていたのかというところまでわかってくると、私たちのような人間も発言しやすくなるんですが……。ただ、今、子育てをしている人たち

だって、昔と変わらず一生懸命子育てをしている人はたくさんいると思います。

**長州**…子どもを育てるということについては、今の時代と俺の時代のズレはあるよね。ズレというか、まったく違うなという。俺がガキの頃は、月曜日の一時間目は絶対に「道徳」の授業だったんだよ。

**人見**…えっ、そうなんですか。

**長州**…月曜日の一時間目はそうなの。「道徳」の意味すらわからないで真面目に聞いていたけど。まあそこで聞かされることは、簡単に言えば、やっていいことと悪いことだよ。弱い者をいじめては駄目とか。それは今の時代でも変わらないと思うんだけど。

だから、さっきの事件でも反対にホームレスの方が、「向こうへ行け」とか言って石を投げてきたわけでもないだろうし、その弱い人間、何もしてこない人間に対して、なぜあえてそういうことをするのかというのがあるよ。

俺はやっぱり、もう古い考えと言われるだろうし、こういう言い方をするのも悪いですが、親も罪を負うべきで……。

**人見**…うーん。

**長州**..そういう人物を育てたものとして、そこに「社会」という言葉に当てはめるんだと思ったら、その前に「家族」だろうとは思う。「社会」を当てはめられたら、これはもう人間との付き合いなんか、誰ともできないんじゃないかな。

**人見**..今はよくも悪くも「個人の時代」みたいになってしまつて、子ども部屋を親が見たら子どもが怒り出すという、そういうことも背景に影響しているのかなと伺つていて思いました。

**長州**..先生や教える人の側にも、「おまえ、本当に子どもに教えられるの?」という、世の中の不信感みたいなものもあるよね。

**人見**..はい。

**長州**..あまり先生の側を追い詰める言葉はよくないし、指導者の暴力は決していいことではないけれども、何なんだろうな、俺が子どもの頃は何かあったときには殴られた。それが当たり前。まあいいことではないよ。いいことではないんだけど、「ああ、確かに俺がこういうことをしてかしているから殴られた。うん、だから、これはもうやらない方がいいな。でないとまた殴られるぞ」というようなことは感じた。今は、学

校の先生が何か脅えながら子どもたちと接しているというか……。

**人見**..それについては、僕もスクールカウンセラーという形で今の学校現場に行くわけです。そうすると、やっぱり自分が子どもだった頃に見ていた先生たちというのは、裏側を知らないだけかもわからないですが、上からガンと怒つてたわけです。で、今の先生たちは、こういうことを言つたら子どもたちがどうなるかなというのをずつと気にして、もう考え過ぎちゃつて何も言えなくなつていて先生もいるかもしれないです。全員ではないと思いますが。

**長州**..そういうのは、時代が違うつて言うの? **人見**..ああ、どうでしょう。**長州**..時代が違うのではなくて、人間が変わつてきたのではないの? **人見**..確かにだいぶ変わつてきているでしょうね。例えば、コンピュータゲームなんかが出てくる。僕たちが子どもの頃なんてゲームがなかったから、当然外で遊んでました。でも、ゲームが出てきてだんだんそういうことが様変わりしていく。今の子どもたちは、もう生まれたときからすぐそばにゲームがあるわけですね。

やつぱり似たようなところで、今ちょっと不安に思うのは、親が赤ちゃんと育てているときに、例えば、おっぱいをあげているときに何をしているのかといったら、赤ちゃんの目を見ないでスマホでLINEに返信しているんですね。そうやって目と目を見る機会がずいぶん減つてきたりしているとか、いろいろと指摘されているんです。

その影響で、こういう子どもが育つていくのかというのは、なかなか一概に言えないんですけど、でも、おっぱいを飲んでいるときにお母さんの目を見るのは、人間の赤ちゃんだけらしいです。

**長州**..じゃあ、その子どもの母親は、どうやつて自分の母親を見ていたの

だろうか。その母親の親も……。

**人見**..それは、たぶんそういうことはなかったでしょうね。だから、今、一生懸命子育てをしている人に誤解があつてはいけないなと思つているんですけど、やつぱり「ママ友」の圧力というのもLINEなどでのやりとりが出てきたことで、すごく強くなつて。つまり、すぐに返事を書かないと仲間外れにされたりするわけです。

### 自分が守れるものを守る

**長州**..うん、俺はね、要するにいいめとか差別つて、確かにいいことではないのはわかるけれども、俺はもうなくならないと思うんです。

**人見**..長州さんは、ずつとそうおっしゃっていますよね。

**長州**..うん、なくならないと思う。**人見**..それは、やつぱり長州さんご自身の国籍のこともあるのですか? **長州**..うん、ある。それにこだわつて言っているわけではないけれども、差別やいじめというのは、時代が違つてくるとか、どこからでも生まれてくるから。だから、そこから自分を守るためにはやつぱり強くな

るしかない。強くなればいいんだ。





自分で自分を守る。だから、俺の親も強かったよね。強かったということは、やっぱり親は子どもたちを守るために強くなったんだろな。そうしたら、またその子どもたちも、いいのか悪いのかはわからないけれども、また自分たちが大きくなって子どもができたら、やっぱり同じ世界をつくっていくんだろな。

**人見**..長州さんは親から殴られたりしたこともあったんですか？

**長州**..あつたよ。

**人見**..でも、一方で、守ってもらっているという感覚もあったわけですよね？

**長州**..ああ、あるある。

**人見**..それで、どうなんでしょう。今の親の守り方というのは、もちろん長州さんの親のような守り方もあるかもしれないですが、今はいきなり学校にクレームを言うとかそういうことが多くなっていますよね。

**長州**..それはテレビのニュースを見ていればわかるし、何かつまらないことをみんなで話題にしているなどというのはあるけど、もうそれが現実の今の世の中だし。反対に、今の世の中の方が、けっこう「どぎつい」というか、ヘイトでもどぎついし、そこまでやるかというのがあるよ。



そして、言われている方も脅えてはいるけれども、何かをまた仕返ししてやろうというように見える。

昔はね、やっぱり弱い人間はずっと最後まで弱かったんだよね。いじめられる方に最後まで強くなるとういう気持ちになかったというか、俺にはその考えはわからないけれども、俺はやっぱり何か体を動かして、力もつけて、言われないようにしようとしたよ。反対にそうしないと、差別もいじめもなくならない。相手はやめない。俺がそいつより力をつけ

たところを見せないと、絶対にやめない。

だから、簡単に言えば、もう差別とかいじめはなくならないよ。今でもいろんな国で戦争をやっているわけだから。

**人見**..そうですね。だから、私たちが一生懸命やろうとしているのは、学校の中で、もちろんいじめとかそういうことはしないようにしましようということ、先ほどの道徳の授業もその一つみたいなことなんですけど、それでも現に起きるわけです

ね。起きたときにどう発見して、どう対処していくかという……。  
**長州**..でもそれは、たぶん俺が生きている限りはなくならないと思う。だから、何ができるかと思ったら、俺の心の中に入ってくるなよということだよ。

**人見**..ああ、はい。

**長州**..俺のことをどう見ようが、どう考えようが、ここから先はもう俺の世界に入ってくるなというのは気持ちの中にあるね。うん、あるよ。その代わりこっちも、その嫌なものを見たくないし、何かをしようとも思わないし。そうしながら、また次の時代を迎えていくしかないんじゃないの。わからないけど。ただ、なくならないだろうね。だから、なくならないものに対して、みんなが協力しあって少しでもどうにかしようとすることはわかるよ。でも自分ができるのは、自分だけのものを守るということしかないよね。

**人見**..そうか。長州さんは守るものをきちんとつくれたのかもわからないですね。でも、僕たちの前に登場するような人、かつていじめられたという人は、これがつくれないんですよ。「入ってくるな！」がつくれなくて、わーっというんなものが入

ってくるのではないかと思うんです。  
**長州**…いや、それはつくれないのではなくて、自分でつくらないんじゃないの？ 違うんですか？ やっぱつくれないのか。

**人見**…ずっといじめられてきていた人たちはいろんな症状が出てきりするんです。「フラッシュバック」のように嫌な記憶が突然よみがえったり……。

長州さんはそこで、「入れないよ」「守るものは守るよ」ということができたわけですね。

**長州**…俺はね。で、守るといったらやっぱり家族でしかない。友人や仲間を守るというのは、今の時代にそれはないような気がするね。今はやっぱり家族だよ。孫もいるし、子どもたちもいるし。やっぱり一番大事なもののだし。

俺は俺なりの形で家族というものをつくり上げているけど、それがいいのか悪いのかは、俺にはわからない。世の中すべてがそうではないというのにはわかってるし、俺のこういう考えもまた物議を醸すかもしれないけど、ただ、なるべく今の自分たちの家族に対して必要のないものは入ってこないようにしている。テリトリーの中に変なものはいれない

というか。

それは家族に対しても同じだよ。みんな苦しいこともあるし嫌なこともあるだろうけど、「今は俺がつくったものの中にみんな収まっていかなければ駄目だぞ」というのは、たぶん理解できていると思うよ。そこから外れることをしたら、どういうことになるかという怖さもわかっていると思う。年に一回ぐらいは落とすときがあるからね。

**人見**…それは「雷」をですか？  
**長州**…うん、落とすときがある。そ

れは、普段の怒り方ではないというのはわかると思う。声がめちゃめちゃ大きくなるし。

**人見**…最近そういう怖いお父さんというのはいすごくいなくなっちゃった感じがしますね。

**長州**…別に怖がらそうとしているわけではないけど。だから、娘たちもいつもバカなことを言って、まあ楽しくやっているけれども、あまりにもふざけ過ぎたら、落ちるっていうのがわかるようになってるよ。

**人見**…ここまでの話で「親とは何

か」ということが語られているように思うのですが、長州さんは「俺はこうだぞ」ということを、責任を持って家族に示しているという感じがしますね。

**長州**…ああ、親はやっぱり「責任」じゃない？

俺はもう親というのは、たとえどう言われようが、自分の子に対して責任をどう取るかだと思うので。だから、さっきの事件の話でも、お巡りさんが家に来て、「息子さんを逮捕します」と言われて「えっ」とまじ驚くだろうけど、「まさかうちの息子が……。」とみんなそこで思うのかな？

**人見**…そういうことは長州さんの中ではあり得ないですね。

**長州**…いや、本当によくそういうセリフを聞くけれども、そのときの親ってどういう反応を示すのかなと思ってる。親の顔はどういう具合になるのかなって。

俺の親はね、怖いと感ずることもあったんだけど、その反面それ以上の優しさというのがあったんだよ。殴られているのにやっぱり優しさも感じているんだよな。守ってくれるのは、うちの母親であり、父親であり、兄弟きょうだいでありというのは、今でも



感じているよね。そういう育ち方を  
してきているなという。

やっぱり俺は、親の責任も問うべ  
きだと思ふ。うん、問うべきだろう  
なあ。

**人見**…長州さんの「責任」の中には  
「覚悟」というものがありそうです。

**長州**…その責任はあくまで自分に対  
しての責任だから。周りにいるやつ  
に「おまえたちも一緒だよ」という  
のは求めないよ。これは俺の責任で  
やるという。親として、そういう問  
題が起きたらね。まあ起きないこと  
を願って毎日過ごしていますけど。  
常にちゃんとやっていても、やつぱ  
り心配だよ。もうどんなに子ども  
たちが大きくなるうが。

俺は、もう親も一緒だなと思うん  
だよ。だから、さっきのような事件  
を起こす子どもが育つ今の世の中は  
わからないし、許せないよ。どうし  
てそういうふうになるのか、俺は本  
当にわからないよね。

**人見**…長州さんの「俺はわからな  
い」というその「わからない」に、  
きつと私たちは答えていかなければ  
ならないとは思ふんですけれど。  
**長州**…うん、でも、それはたぶん無  
理だよ。

**人見**…ああ、長州さん……。



**長州**…無理だよ。もうそれはねえ、  
無理だろうと思う。よくテレビとか  
で、「あなたの気持ちはわかります」  
って言うてるでしょ。おまえに何が  
わかるんだって（笑）。

俺の場合はね、もうガキの頃から  
かな、「おまえに俺の何がわかる」  
って口ぐせみたいなものだからね。  
これを言うと、なぜみんなが笑うの  
かはわからないけれども。「俺の何  
がわかって言うてるの？ おまえは  
身内か？」って。

たぶん、俺がどういう人間になっ

ていくかというのは、やっぱり母親、  
父親、あと少なからず兄姉の影響が  
あるはずで。今までずっと見られて  
いるし、家族が「こいつはこういう  
やつだ」って言うのは、当たってい  
るよ。少なくとも違和感はないよ。

**人見**…はい。

**長州**…同じようなことを、全然知ら  
ない人間とか、友人からでもいいけ  
ど言われたりするのと、「こいつ、俺  
の何がわかってるんだ」といつも思  
うよ。まあアドバイスとかそういう  
のは、区別しながら聞くことはでき  
るけどね。

### 人生は平等で一瞬

**人見**…残念ながら時間がきてしまっ  
たんですけど、最後に、私たちがい  
るような業界を目指す若い方たちに  
何かメッセージはありますか？

**長州**…若い人たち……。だったらあ  
れだよ。人生、生きていくのにどん  
な人間でも時間は平等なんだよ。二  
四時間なんだ。それをどういう具合  
に自分で考えるか。もうちよつと責  
任を持って事を運んでいかないと、  
とんでもないことになっちゃうよ。

**人見**…長州さんがよく言われる、  
「瞬きしている間だぞ」ということ

ですね。その自覚を持った方がいい  
と。

**長州**…そうそう。そうしないと、も  
う「浦島太郎」だ。ほんとあつとい  
う間だよ（笑）。

長州力（ちゅうりきゅう・りき）

元プロレスラー。一九五一年二月三日山  
口県生まれ。専修大学時代にレスリングで  
活躍し、一九七二年ミュンヘンオリンピック  
に出場。一九七四年八月八日、アントニ  
オ猪木率いる新日本プロレスにてデビュー。  
デビュー当時は本名の「吉田光雄」であつ  
たがのちにファン公募で「長州力」に改名。  
一九八二年から始まった藤波辰巳（現・辰  
爾）との抗争は「名勝負数え歌」と称され  
史上空前のプロレスブームを巻き起こした。  
二〇一九年六月二六日、東京・後樂園ホー  
ルにて引退。

人見健太郎（ひとみ・けんたろう）

みとカウセンリングルームどんぐり所長。  
一九七三年茨城県水戸市生まれ。一九七  
七年、茨城大学大学院修士課程人文科学研究  
科修了。大野クリニック（現・医療法人南  
山会 柵町診療所）を経て、現職。二〇〇  
一年〜二〇〇二年、英国タヴィストックク  
リニック 思春期青年期部門留学。著書はい  
ずれも共著で『学校臨床に役立つ精神分  
析』（誠信書房）『力動的的心理査定』（岩崎  
学術出版社）他。臨床心理士。